

学校名 幸手市立さかえ小学校

所在地 幸手市栄2番90号

電話 0480-43-1509

1 本校の概要

さかえ小は、栄第一小と栄第二小の両校を統合し、栄地区全体を学区として平成15年4月に開校。さかえ小では、目指す学校像を「夢を育み 夢を叶え 夢を広げるさかえ小」とし、「人に役立つ人」の育成を目指して、次時につながる児童の意欲を引き出す学習活動を展開している。（児童数162名）

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・豊かな心を育む図書室の読書活動

(2) 実践の概要

ア 児童への読み聞かせ

- ・お話の森（地域の読み聞かせグループ）のお話会

対象 全学年

場所 特別教室

時間 国語



- ・本校図書館協力員からの図書館内での読み聞かせ

（利用指導含む）

対象 低学年

場所 図書室

時間 国語



イ 毎週月曜の読書タイム（朝活動の15分間）

各学級に学級文庫用として毎月、国語の教科書に掲載されている図書の配本や幸手市立図書館から各学年の実態に合わせた団体貸出の配本により、児童の読書の幅を広げられるようにしている。国語の年間計画に合わせて、常に新鮮な本が並ぶようにしている。低学年の教室では、月に2回司書教諭が読み聞かせを行う。

ウ 図書委員会児童による読書活動の推進

図書委員会の児童が委員会活動の時間に話し合い様々なイベントを校内で行っ

ている。

- ・1学期 『図書室ビンゴ』（6月）

様々な分類の本を読んでもらうことを目標にビンゴ表を作成。

- ・『図書室のゆるキャラを作ろう』（7月）

学校全体に呼びかけてゆるキャラのデザインを募集し、児童、職員全員で一人一票投票を行い、ゆるキャラ「ねこはかせ」を決定。以降図書委員からのお知らせポスターやスタンプラリーのデザインで活用している。



- ・2学期『スタンプラリー』（11月）

学年毎に目標の冊数を決めてスタンプラリーを行っている。目標達成の児童には「2冊借りられるクーポン券」の発行をする。

- ・『昔話検定』（12月）

昔話のクイズを作り、昼休みにクイズ大会を行う。正解問題数に合わせて認定証を作り参加児童に渡す。昔話の知識と関心を高める掲示を図書館協力員が作成。参加賞のしおりも児童に好評であった。



- ・3学期 『かるた大会』（1月予定）

図書室にある郷土カルタでかるた大会を行う。図書委員会は審判と読み手になる。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・児童の読書量が増え、読書の幅が広がった。
- ・様々なイベントを図書委員会の児童が行うことによって読書嫌いの子ども達も図書室に足を運ぶようになってきている。
- ・図書館協力員の配置により円滑な図書館運営ができています。

(2) 課題

- ・本が好きな児童は増えているが、今後は教科で図書を活用した調べ学習の仕方など児童の情報活用能力への向上につながる利用指導を行っていきたい。